

科目名	総合日本語中級						
科目名(英)							
単位数	16単位	時間数	243時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日常身近に体験する出来事や社会問題などをテーマに4技能を偏りなく伸ばし、コミュニケーション力を高めることを目指す。						
授業形態	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		日常身近に体験する出来事や社会的な話題について、自分の感想や考えが説明できる。	
	○	○		○		文章の構造を理解し、まとまった内容の文章が読み書きできる。	
	○	○		○		発話意図や場面などに合わせて、適切に表現が使い分けられる。	
	○	○		○		異なる視点や考え方を持つ相手とも、興味・関心を持って情報や意見の交換ができる。	
テキスト・教材 参考図書	嶋田和子監修 『できる日本語中級』 アルク 2019年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~10	第1課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。(1時間)	
	11~20	第2課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。(1時間)	
	21~30	第3課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。(1時間)	
	31~40	第4課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。(1時間)	
	41~50	第5課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。(1時間)	
	51~60	第6課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。(1時間)	
	61~70	第7課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。(1時間)	
	71~80	第8課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。(1時間)	
	81~90	第9課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。(1時間)	
	91~100	第10課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。(1時間)	
	101~110	第11課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。(1時間)	
	111~122	第12課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。(1時間)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テスト(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	読解中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事、解説、平易な評論など、論旨が明快な文章を読んで、内容が理解できるようになることを目指す。						
授業形態	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		解説やエッセイを読んで、概要や論理の展開が理解できる。	
	○	○		○		知らない言葉や文法が多少あっても、前後関係から意味を推測できる。	
テキスト・教材 参考図書	佐々木仁子・松本紀子『日本語総まとめN2読解』アスク出版 2017年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1週1日目～3日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	2	第1週4日目～7日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	3	第2週1日目～3日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	4	第2週4日目～7日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	5	第3週1日目～3日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	6	第3週4日目～7日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	7	第4週1日目～3日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	8	第4週4日目～7日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	9	第5週1日目～3日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	10	第5週4日目～7日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	11	第6週1日目～3日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	12	第6週4日目～7日目				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	13	模擬試験①				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	14	模擬試験②				指定された宿題を行うこと。(1時間)	
15	模擬試験③				指定された宿題を行うこと。(1時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)中間試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
中間試験	◎	◎		○		50%	
履修上の注意							

科目名	聴解中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	幅広い場面で、自然に近いスピードのまとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりできるようになることを目指す。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		会話やニュースから必要な情報を聞き取ることができる。	
	○	○		○		会話やニュースから話者の意図や主張などが理解できる。	
	○	○		○		複数の情報を比較・統合しながら内容を理解することができる。	
テキスト・教材 参考図書	佐々木仁子・松本紀子 『日本語総まとめN2聴解』 アスク出版 2011年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1章1・2			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	2	第1章3・4			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	3	第1章5			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	4	第2章1・2			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	5	第2章3・4			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	6	第2章6・7			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	7	第3章1・2			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	8	第3章3・4			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	9	第3章5			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	10	第4章1・2			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	11	第4章3・4			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	12	第4章5			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	13	第5章			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
	14	模擬試験①			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)		
15	模擬試験②			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)中間試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	中間試験	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	会話中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	身近で日常的な話題について、初級で学んだ語彙や文法を使って会話ができるようになることを目指す。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				身の回りの日常的な場面で、誤解をしたり誤解を与えたりすることなく、簡単なやりとりができる。	
	○	○				初級で学んだ語彙や文法を的確に使う、身近で日常的な話題(趣味や週末の予定など)について会話ができる。	
	○	○				準備をしていけばフォーマルな場で短いスピーチをすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	自己紹介			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	2	ゴールデンウィークの計画			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	3	ゴールデンウィークの報告			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	4	おすすめの店①			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	5	おすすめの店②			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	6	私の町の紹介①			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	7	私の町の紹介②			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	8	私は大統領①			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	9	私は大統領②			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	10	スピーチコンテスト①			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	11	夏休みの計画			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	12	夏休みの報告			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	13	スピーチコンテスト②			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	14	ディベート①			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	15	ディベート②			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。(2)中間試験(口述)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	中間試験	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	作文中級						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	作文を書くことに慣れ、初級で学んだ言葉や文法を使って身近なテーマの400字程度の作文が書けるようになることを目指す。						
授業形態	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		話し言葉と書き言葉を使い分けることができる。	
	○	○		○		原稿用紙の使い方も含め、正しい表記ができる。	
	○	○		○		具体的な例を挙げて分かりやすく説明できる。	
	○	○		○		自分の気持ちを豊かに表現できる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	私のトリセツ				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	2	ゴールデンウィーク				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	3	おすすめの店				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	4	私が大統領だったら				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	5	意見を述べる①				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	6	意見を述べる②				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	7	スピーチコンテスト原稿①				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	8	スピーチコンテスト原稿②				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題を数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	宿題	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	文字語彙中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日常生活でよく使われる約1400語を、短い文や語句、イラストを使って効率よく学ぶ。JLPT N2の言語知識だけでなく、読解や聴解にも役に立つ。						
授業形態	講義	○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		日常的な場面で必要な語彙の意味や用法を正しく理解し、使うことができる。	
	○	○		○		習った言葉の正しい発音や表記ができる。	
テキスト・教材 参考図書	佐々木仁子・松本紀子 『日本語総まとめN2語彙』 アスク出版 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1週				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	2	第2週1日目～3日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	3	第2週4日目～7日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	4	第3週1日目～3日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	5	第3週4日目～7日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	6	第4週1日目～3日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	7	第4週4日目～7日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	8	第5週1日目～3日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	9	第5週4日目～7日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	10	第6週1日目～3日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	11	第6週4日目～7日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	12	第7週1日目～3日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	13	第7週4日目～7日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	14	第8週1日目～3日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	15	第8週4日目～7日目				授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
小テスト	◎	◎		○		50%	
履修上の注意							

科目名	文法中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日常生活で使われる文型を学び、N2合格を目指す。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		文の内容に合った文法形式かどうか判断できる。	
	○	○		○		統語的に正しく、かつ、意味が通る文を組み立てることができる。	
	○	○		○		文章の流れに合った文かどうかを判断できる。	
テキスト・教材 参考図書	佐々木仁子・松本紀子 『日本語総まとめN2文法』 アスク出版 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1週			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	2	第2週1日目～3日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	3	第2週4日目～7日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	4	第3週1日目～3日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	5	第3週4日目～7日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	6	第4週1日目～3日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	7	第4週4日目～7日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	8	第5週1日目～3日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	9	第5週4日目～7日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	10	第6週1日目～3日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	11	第6週4日目～7日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	12	第7週1日目～3日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	13	第7週4日目～7日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	14	第8週1日目～3日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	15	第8週4日目～7日目			指定された宿題を行うこと。(1時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)中間試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	中間試験	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	日本事情 I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日本社会の一員として必要な基本的知識(法律、ルール、習慣など)を学ぶ。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		日本の法律や学校、寮などの規則を理解し守ることができる。	
	○	○		○		留学生活に必要な基本的知識を持ち、行動することができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	日本の法律や習慣について			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	2	防災			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	3	日本での進学・就職について			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	4	防災センター見学①			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	5	防災センター見学②			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	6	バスハイク①			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	7	バスハイク②			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	8	バスハイク③			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
評価方法	(1)授業への参加状況(事前学習、事後学習を含む) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業への参加状況	◎	◎		◎		100%
履修上の注意							